

■表1 主要施策と主な重点事業

方 針	主 要 施 策	主 な 重 点 事 業
観光客誘致の推進	I 広域観光ルートの確立と着地型・滞在型プログラム創出の推進	・平泉からえさし藤原の郷への誘客促進の強化 ・歴史、自然、食などの埋もれた観光資源の掘り起こしと活用 ・正法寺プチ修行体験（座禅、写経、精進料理など）商品プランの設定と活用
	II ロケ誘致の推進	
	III 祭り・イベントの開催	
物産の振興	I 既存ブランドの普及拡大と新たな地域ブランドの確立	・農商工連携の推進による新たな加工品、料理メニューの企画・開発 ・前沢牛、江刺りんご、岩手ふるさと米、江刺金札米などの地域ブランド商品の流通拡大
	II 物産の普及啓発	
観光施設の整備 および新たな観光 開発の推進	I 新たな観光資源の活用による観光開発	・胆沢ダム周辺施設（温泉・スキー場・焼石連峰・胆沢川溪流釣り・カヌー団体など）との共同による観光開発の推進 ・胆沢城跡を中心にした歴史回遊ルートの設定と活用 ・平泉文化遺産関連史跡を中心とした誘導案内看板の整備
	II 既存観光施設の整備・改善	
	III 観光案内看板の整備	
市民・観光関係団体との連携および 情報発信の充実	I 観光関係団体・市民ボランティアガイドへの支援	・おもてなし向上研修会、講習会の実施 ・市内ボランティアガイドの連絡協議会の設立、運営 ・観光ホームページの充実、情報の一元化（市、観光物産協会ホームページの統合）、飲食店、宿泊施設などの情報充実
	II 観光情報発信機能の充実	
	III ホスピタリティーの向上	



～平泉、衣川を眺望しながら
郷土史について学ぼう～

奥州・平泉郷土史

無料ガイド

世界遺産登録候補地ガイドの会が、平泉、衣川を眺望しながら郷土史について分かりやすくご説明します。

■日時 毎週土午後4時半～5時頃
※4月27日国から9月28日国までの期間限定の開催。主催者の都合により開催を中止することがあります

■場所 衣川荘6階「北天眺望室」

■主催 サンホテル衣川荘・世界遺産登録候補地ガイドの会

■問い合わせ サンホテル衣川荘（☎03311）

※ホスピタリティー … 心のこもった手厚いおもてなし。歓待の精神

7 広報おうしゅう

計画の具体的な方針

計画では、基本方針を受け、4つの具体的な方針を定めています。

観光客誘致の推進

平泉文化遺産エリアなど、広域的な範囲を視野に入れながら、歴史公園えさし藤原の郷を中心に、市内の観光資源を結ぶ観光ルートを確立します。これにより、多様な着地型・滞在型プログラムを作り、観光客誘致を推進します。

また、祭り・イベントの開催を充実し、ロケ誘致と連動して観光客の増加を目指します。

さらに、27年度に予定され

物産の振興

「南部鉄器」や「岩谷堂筆筒」などの伝統工芸品や「前沢牛」「江刺りんご」「岩手ふるさと米」「江刺金札米」などに代表される既存の食ブランドの普及拡大を図ります。

また、加工品や料理メニューの新規開発を推進することにより、新たな地域ブランドの確立を目指します。

さらに、「はつと料理」や「あんかけうどん」など奥州

市に古くから伝わる郷土食を、ご当地メニューとして広めていきます。

観光施設の整備と新たな観光開発の推進

史跡高野長英旧宅の災害復旧工事は、24年度に完了しました。また、25年度には史跡胆沢城跡第1期外郭南門地区の復元整備が完了する予定です。これらを新たな観光資源として活用し、今後の観光開発につなげます。

老朽化した観光施設は計画的に整備、改善します。また、平泉文化遺産を中心とした、誘導案内看板の計画的な整備を進めます。

市民・団体の連携と情報発信の充実

計画では、観光関係団体、市民ボランティアガイドが機動的、効率的に活動できる体制を構築することとしています。観光業に携わる民間企業や市民のホスピタリティーを向上することにより、受け入れ態勢の充実を図ります。

また、多様化する観光客のニーズに対応するため、紙媒体やインターネットなどを活用した情報発信と観光案内の充実を図ります。

さらに、外国人旅行者向けの情報発信も積極的に展開し、国際化に対応した観光客誘致

を進めます。

計画の主要施策

4つの方針に対応し、それぞれ主要施策を定めています（表1）。

この主要施策により、具体的な事業を実施することになります。

観光客を呼び込もう

今回、計画を策定し、具体的な事業を明確にすることで、市内の観光関係団体や観光施設などの連携が強まること期待されます。

また、観光施策を市民・団

えさし藤原の郷でも、東日本大震災の影響で入込客数が減少していましたが、24年度はかなり持ち直し、客数も増加傾向にあります。観光基本計画が策定され、その計画に基づき具体的な事業が実施されることに期待しています。特に、観光ルートを周遊する二次交通の整備などが進み、市全体の観光客が増えれば、当施設の客数の増加にもつながります。

本年度、当施設は20周年を迎え、さまざまな記念事業を企画しています。今後も、市の観光行政に貢献していきたいと考えています。

白鳥館遺跡と長者ヶ原廃寺跡が、平泉世界文化遺産から漏れたことにより、ガイドの会を利用する観光客が減少しています。それに伴い、ガイドの会の会員も活躍の場が少なくなり、会員数も減少。世界遺産登録候補地だけの活動では、観光客のニーズに応えることに限界を感じています。

今回策定された観光基本計画において、観光関係団体や組織の広域的な連携も明記されました。これを契機に市内にあるガイドの会でも連携を深め、観光客のニーズに沿ったガイド活動ができるよう努力していきます。

世界遺産登録候補地ガイドの会
事務局長
後藤和夫さん（60）

えさし藤原の郷 企画業務部
課長
齋藤礼子さん（42）

No. 86 (2013. 4) 6